

令和5年度県政モニターアンケート 調査結果報告書

「こども施策について」

福岡県福祉労働部
こども未来課

1. 調査目的

国においてこの4月から、「こども家庭庁」が発足し、子どもの最善の利益を第一に考え、こども政策を強力に進めていくため、こども基本法（※）が施行されました。

福岡県においても、子どもを取り巻く課題が多様化・複雑化する中、4月から新たに「こども未来課」を新設し、こども施策を総合的に推進していくこととしています。

県として、全ての子どもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組んでいくことは、県政における最優先の課題の一つであると考えています。

本調査は、県民の皆様のこども施策等に関する御意見をお聞かせいただくために実施したものです。

いただいた御意見は、今後こども施策の推進の参考とさせていただきます。

※ こども基本法

こども基本法は、こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和4年6月に成立し、令和5年4月に施行されました。

こども基本法は、日本国憲法および児童の権利に関する条約の精神にのっとり、全ての子どもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的としています。同法は、こども施策の基本理念のほか、こども大綱の策定やこども等の意見の反映などについて定めています。

2. 調査時期

令和5年10月17日～令和5年11月9日（第4回）

3. 回答者の構成

項目	総数	性別			年代別					
		女性	男性	その他	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
人数	366	203	161	2	57	62	71	62	84	30
構成比	100.0%	55.5%	44.0%	0.5%	15.6%	16.9%	19.4%	16.9%	23.0%	8.2%

4. 回答結果

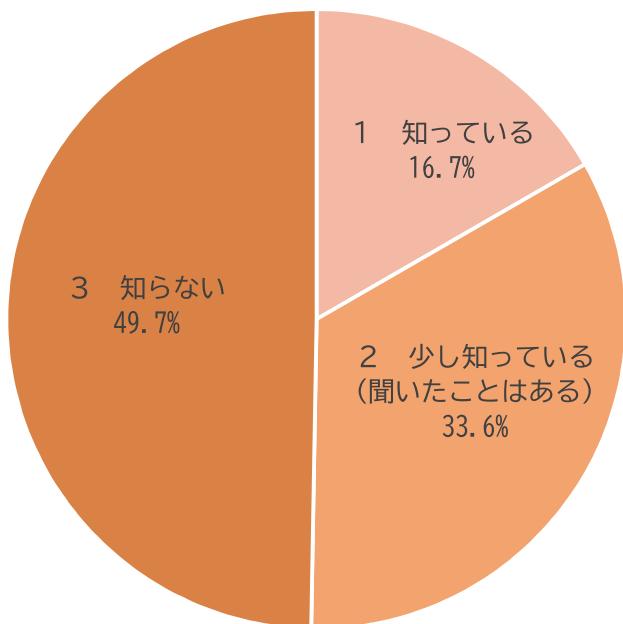
問1 国（こども家庭庁）は、常に子どもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取り組・政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」の実現を目指して、子ども施策を推進していくこととしています。

あなたは、この「こどもまんなか」という言葉を知っていますか。

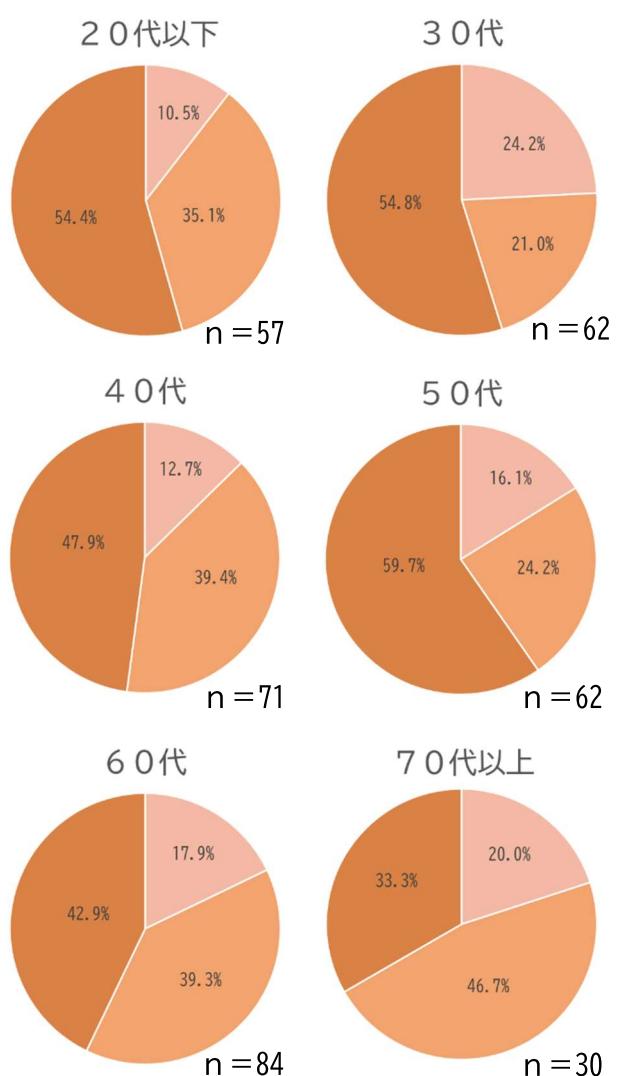
次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 知っている	61	6	15	9	10	15	6
2 少し知っている (聞いたことはある)	123	20	13	28	15	33	14
3 知らない	182	31	34	34	37	36	10
計	366	57	62	71	62	84	30

「こどもまんなか」という言葉の認知度
(全世代)



(世代別)



問2 こども家庭庁は、こどもまんなかの趣旨に賛同し、今日からできる身近な「こどもまんなか」なアクションをSNSで「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信することで「こどもまんなか応援センター」となっていただく個人、団体・企業、自治体等を募集しています。

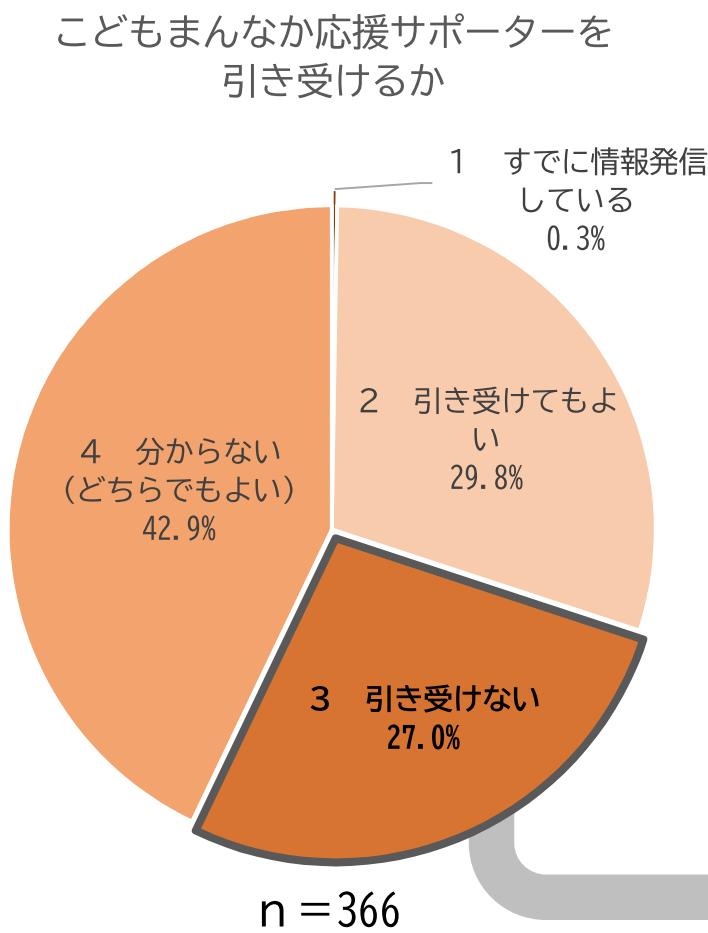
あなたは、もし「こどもまんなか応援センター」としてSNSで情報発信することを頼まれたら引き受けたいと思いますか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

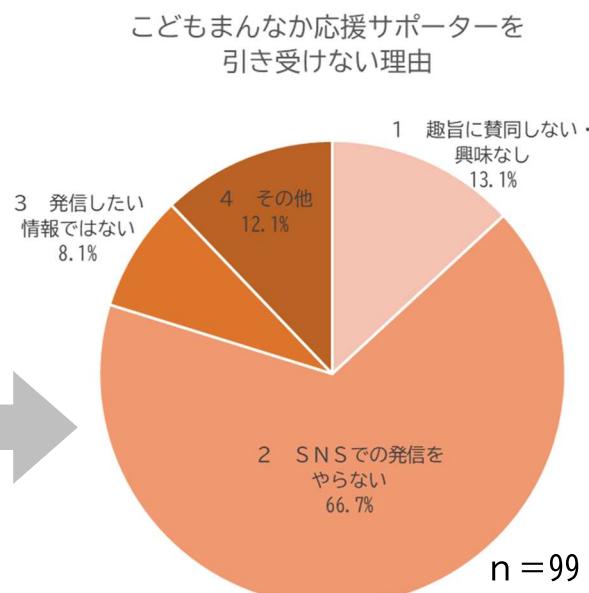
回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 すでに情報発信している	1	0	1	0	0	0	0
2 引き受けてもよい	109	20	22	18	16	24	9
3 引き受けない	99	10	19	19	20	22	9
4 分からない（どちらでもよい）	157	27	20	34	26	38	12
計	366	57	62	71	62	84	30

問3 (問2で「3」を選択された方に) 引き受けない理由は何ですか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。



回答	全世代
1 趣旨に賛同しない・興味なし	13
2 SNSでの発信をやらない	66
3 発信したい情報ではない	8
4 その他	12
計	99



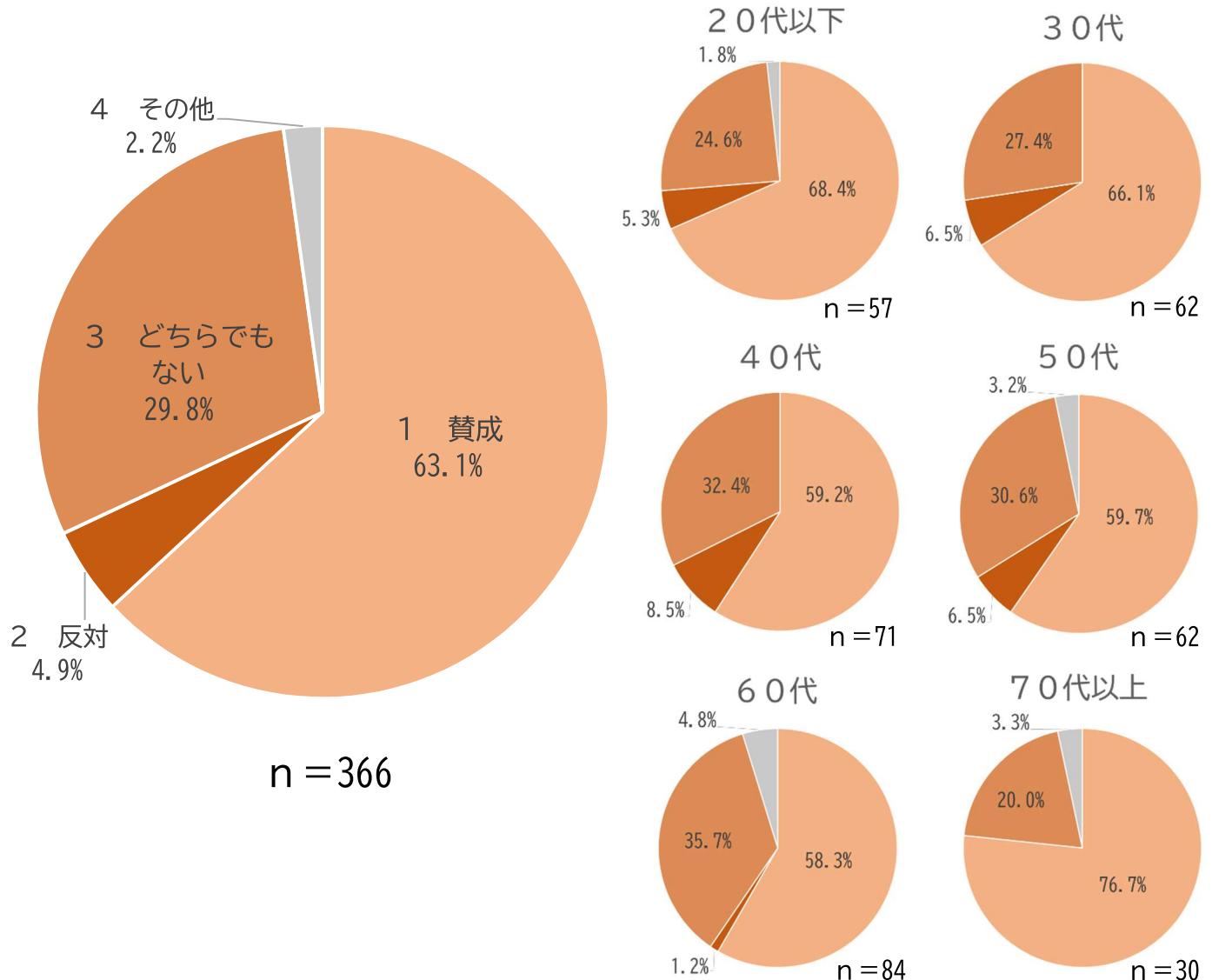
問4 福岡県が「こどもまんなか応援センター」、またはそれに類するような形で、今後SNS等で「こどもまんなか」に関する情報発信をしていくことあなたは賛成ですか。

次の中から当てはまるものを【1つだけ】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 賛成	231	39	41	42	37	49	23
2 反対	18	3	4	6	4	1	6
3 どちらでもない	109	14	17	23	19	30	1
4 その他	8	1	0	0	2	4	0
計	366	57	62	71	62	84	30

(世代別)

県の「こどもまんなか」発信について



[問4 「その他」の内容]

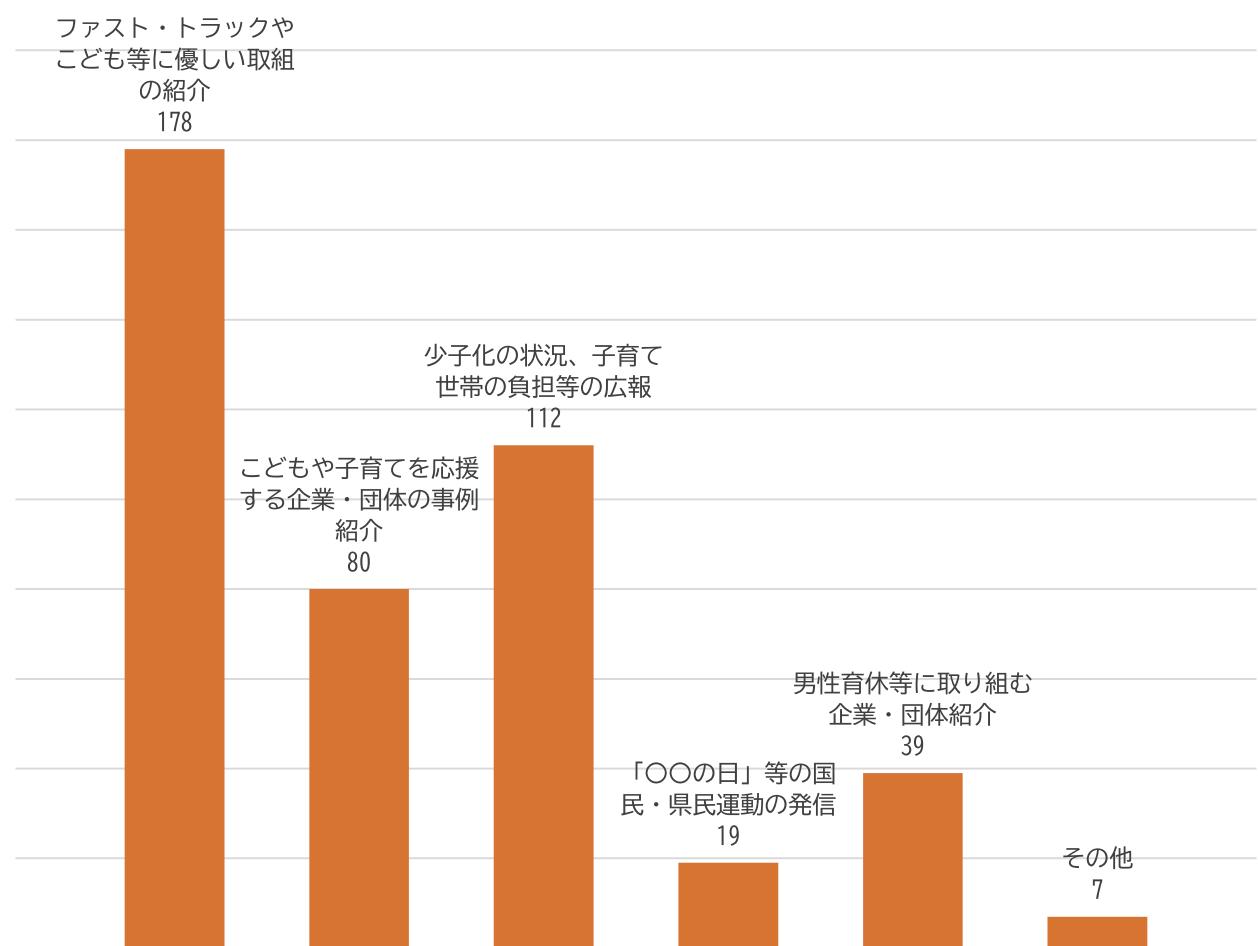
- ◆ こどもまんなかって何？よく意味が分かりません。
- ◆ どのような情報を発信するのでしょうか？
なにかをやってますだけの発信だけで広まるのでしょうか。
子育てする親は何の情報を求めているのか、そもそも情報を求めているのか物などではないのか。
- ◆ 「こどもまんなか」というキャッチコピーに違和感がある。社会のなかで未来を担う子どもが大切にされることは当たり前のこと。「サポートー」とかいう前に福祉事務所の職員を増やすとか、シングル世帯に経済的時間的サポートをするとか、行政として具体的なことをしてほしい。
- ◆ こどもまんなか応援サポートーなど解散
高校までのフリースクールを含む教育機関の無償化、給食費完全無償、地域で摂れた無農薬無肥料、添加物を使わない子どもたちへの食の提供
将来の日本を担う子どもたちが心身ともに健康でいられるよう、まず『金銭面』での親の負担を解消することが大事
- ◆ 自分はSNSをあまり利用していないので広報誌等への掲載によって情報発信してほしい。
- ◆ 今まで行政が取組んだことでこのような「こどもまんなか」・「応援サポートー」のような意味不明な施策がどれだけの効果や意味があるかどうか、極めて懐疑的です。
- ◆ 「こどもまんなか」に関する情報発信とは具体的にどんなことを発信してどんな効果を求めているのかわからない
- ◆ まず、子供中心という考え方方が違う方向だと思っています。現代の教育だったり躾だったりは、大人が手をかけ過ぎの過保護としか思えません。子供が健やかに成長するサポートをすることは賛成なのですが、サポートの方向性が問題なのです。

問5 （問4で「1」を選択された方に）福岡県は「こどもまんなか」を推進するため、
具体的にどのような情報を発信したらよいと思いますか。
次の中から当てはまるものを【2つまで】選んでください。

回答	全世代	20代以下	30代	40代	50代	60代	70代以上
1 こどもファスト・トラックの取組や、公共交通機関におけるベビーカー使用者のためのフリースペースの設置等、こどもや妊婦、こども連れの方に優しい取組の紹介	178	32	30	28	29	42	17
2 こども・子育てを応援する企業や団体などの好事例の紹介	80	18	17	17	7	14	7
3 今のかどもを取り巻く状況や少子化の状況、子育て世帯の負担等について、より多くの方に理解していただくための広報	112	10	16	24	21	27	14
4 「〇〇の日」「〇〇月間」などの国民・県民運動の発信	19	3	3	5	4	3	1
5 男性育休取得や働き方改革に取り組む企業・団体の紹介	39	10	12	6	5	4	2
6 その他	7	0	1	0	1	4	1
計	435	73	79	80	67	94	42

※ こどもファスト・トラック
公共施設や商業施設などの受付において、妊婦やこども連れの方の優先案内や専門レーンを設置する取組。

「こどもまんなか」の推進のために県が発信すべき情報



**問6 こども施策について、これまでの設問以外に意見がありますか。
ある場合は、その内容を具体的に入力してください。**

1	自分の子育ても終わり、今は、孫育てをやっています。親だけでなく、じい、ばばの経験を生かした、こども施策があつたらいいと思います。	60代	男性
2	聞いたことがあるけど中身まで具体的なことを知らないです。	30代	女性
3	こどもが座れるカートがあるスーパーの地図のようなものが欲しい。走り回るタイプの子供のため、カードがないと買い物ができない。初めて行くスーパーだとあるかわからないのでもしこども椅子のついてるカートがなければ買わずに帰ることが多く、二度手間になってしまいます。	30代	女性
4	賛成ではあるのですが、一部のマナーの悪い保護者がでてくることは考えられるので、本当にその政策が必要な子どもたちに平等に権利を与えられるようにして欲しい。	40代	女性
5	少子化の取り組みをいろいろするべきだと思う	50代	女性
6	未だ詳細がわからない	70歳以上	女性
7	こどもまんなかに考えるとき、どこまで優先すべきか線引きをしておかないと何でもかんでもこどもだから優先されるでは、優しさや思いやりが育たない子どもが増える気がします。	60代	男性
8	取り巻く状況や少子化の状況、どのような社会変化が想定されるのか？それに立ち向かっていく必要があり、社会として皆さんを真ん中に据えて支援を行うが、主人公は皆さんであり期待値も○○なので、自律した人財になって欲しいなどなど。そのために開かれている社会では教育やボランティア、就労、家庭活動などなどがあるんだよ。みたいな感じです。	60代	男性
9	妊娠が出来ないのでこのような政策は聞くたびにつらくなります。そういう人もいることを頭の片隅に置いてもらえるといいと思います。	40代	女性
10	私はこどもや赤ちゃんが大好きですが、ずっと一人暮らしで触れ合うことがありません。敬老の日だけではなく、60歳以上の高齢者と触れ合う機会を作ってほしい。例えば、ボランティアで保育園で簡単なお手伝いをする。掃除や、昼寝、自由遊びの見守り補助等。高齢者施設で手作りおもちゃ等を作り保育園に高齢者が直接持つて行く等。	60代	女性

11	子どもが健やかに成長するように考えてくれるのは嬉しいが、SNSで政策をやっている雰囲気を出すよりも、まずはその子どもを育てる家庭（親）に実益的な支援が欲しい。例えば、給食費の無償化や減税、児童手当の増額など。 実質賃金が下がり続け物価が上昇する中で、『常に子どもの最善の利益を第一に考え』のであれば、家庭への経済的支援は急務だと考える。 親が生きていくのに必死だと、『子どもまんなか』など無理に等しい。	30代	女性
12	具体的にどのようなことをしていくのかが明確でない	60代	男性
13	子供は国民全体で育していく必要があるという認識を深めるような周知活動が必要と考えます。	50代	男性
14	子どものことを本当に考えるなら、例えばバラマキの補助金など、簡単に親にお金を渡すのではなく、何らかの形での現物支給など子供に直接使われる形にするなどやり方が重要だと思う。	60代	女性
15	共働き世帯が多く、仕事を休むのもなかなか難しいので、病児保育や小学校低学年までの病気の児童を預かる施設が充実すれば良いと思う。	50代	女性
16	子ども政策は遅いと思う少子化問題は、ずーと以前から言われていた事で、スピードあげて取り組むべきです	70歳以上	女性
17	ふくおか・まごころ駐車場の、多胎児の妊娠中・産後の使える期間を伸ばしてほしい。私は現在双子の赤ちゃんを育てているが、多胎のため妊娠中はお腹周りがとても大きく、外出時は介助者必須・車椅子移動だった。しかし、まごころ駐車場の妊娠中に使える期間より前だったため、まごころ駐車場は使用できず、遠いところに停めて、歩くしかなくとても苦しかった。周りから心配されて声をかけられることもあった。 また、産後も双子用ベビーカーでの移動は普通の駐車場だと狭く、赤ちゃんの乗せ替えにかなりの困難を要する。他の県では多胎妊婦には期間の延長が認められているようなので、検討してほしい。	30代	女性
18	テレビや新聞で、子どもの泣き声やベビーカーなどに冷たい言葉を投げかける人が結構多く、そのために子どもとの外出や飲食店利用をためらう親がいるようだ。安心して子どもたちと外出できるような「優しい社会」をつくるため、「子ども」を中心に据えた政策をさらに推進してほしい。	40代	男性
19	子どもや若者は、未来社会を担う重要な存在です。子育て世代の支援や経済的困難に直面するシングルマザー等のひとり親家庭への支援。また、子どもの虐待を早期発見し、素早い対応を行い、子どもの健全な発育を見守ることは、大変重要です。新たに配置された職員の皆様は大変かと思いますが、「子ども未来課」の設置により、子どもの健全な育成と家族の幸せを高めることができます。新しい部署が出来ると、上層部から実績云々で、ご苦労も多い	60代	男性

	かと思いますが、物事は、一朝一夕で変わりません。健康とメンタル面に留意されて下さい。		
20	具体的なこども施策がわからない。県としてどんなことをしていて、どれくらいお金がかかって、成果としてどのくらいあがっているのか、中身が見えるようにしてもらいたい。現在子育てを中心だが、法律の内容も取り組みも何もわからない上、法律や府や課ができるといわれても現実は何も変わっていない。言うだけの、お金が消えていくだけの、無駄事業だと思っている。	20代以下	女性
21	SNSから遠そうで、子育てに携わってなかつた世代や子育てに興味がない方々にどう発信したら理解してもらえるのか。課題だと思います。	30代	女性
22	SNS使用も大きな課題があると思います。どの様な情報を発信するのか、その情報は本当に正しいのかを考える事は非常に難しく、重要であると思います。	60代	男性
23	とある大手ドラッグストアでは、買い物が多い時(重い時)に、スタッフさんが商品を袋詰めして車まで運んでくれるサービスをしてくれて、乳幼児2人抱えた私には非常に助かっている。コロナの影響で、買い物カゴに商品を入れてくれる場所はほぼなくなってしまったが、またそういうサービスは復活して欲しい。	40代	女性
24	子どもの意見を聞くアドボガシーなど支援者養成などにも、力を入れて欲しい。子どもの権利条約なども県をあげて、学んで取り入れていって欲しいと思います。	60代	女性
25	子どもの政策は、地域格差もあり十分ではないと感じる。 子どもが十分に教育を受け、「心の育ち」も含め、社会人として育つような政策を実行していただきたい	40代	女性
26	私は今から子育て中で余裕がない日々を過ごしています。同じ立場を経験された方にはこの事業は受け入れやすいと思いますが、経験のない方々にはなかなか難しいと思われます。子供の良いことも悪いこともより多くの方々に理解してもらい、この事業が広まっていけばいいなと思います。	40代	女性
27	20年あまり子供通学時の交通指導を行っており今後も元気であれば続けますが、子供達の成長を楽しみながら、逆に元気を貢ってます。県などが「机上で発信しても疑問です。問題は現場確認とやる気ではないでしょうか	70歳以上	男性
28	こども施策について進めることが少子化対策にも繋がると考えられるため、積極的に進めるべきだと思う。	20代以下	男性

29	こどもを育てるということはとても大変な仕事であり、核家族化した現代では男性の育児参加もとても大事だと感じています。 特に0歳～3歳くらいが一番子育てにおいての手が必要な時期だと感じます。あまりにもずっと、こども優先政策（行列の優先など）を子供が大きくなってきても続けると、優先されることが当たり前の悪い教育にもなりかねないので難しいと感じます。	40代	女性
30	少子化の中、子供政策は重要だが、国の政策で例えば予算の使い方など信頼が持てない。	60代	男性
31	活動がよくわからずすみません	50代	女性
32	保育士や学校の先生の時給が低すぎると思う。介護士も含めて多くの人が携われるよう、給料の引き上げを県から国に対して強く呼びかけてほしい	60代	男性
33	上部だけの施策のような気がしてならない。	50代	女性
34	一人親にばかり補助金がいくのではなく、平等に補助金がもらえる政策を県が担ってほしいです。国がしてくれないなら、県がこどものためにしてくれませんか？物価上昇に反比例する給与、そんな中育児をするのはとても大変です。夫婦揃っていてもこどもに十分な食事や教育を与えるために、平等に補助してほしいです。それが本当のこどもまんなかです。	30代	女性
35	少子化の原因は金銭的余裕がないことが一番の原因だというのは明らかなので、うわべだけの取組にお金をつかわざ必要なことに重点的に使用して欲しい。	30代	女性
36	「こどもまんなか応援センター」いったい何をするのかさっぱりわかならない。これも具体的なものをしめしてほしい。言葉も内容もよくわからないなか活動するかと聞かれても答えようがないです。ワークショップをするとか保護活動をするのか、小学校等と連携とかなんだろうか。	60代	男性
37	ピント外れのこども政策を修正してほしいが、国がいったん決めたことはおかしくともそのまま実施されることに納得がいかない。	60代	女性
38	子供真ん中政策の阻害因子について質問があつてもよいのではないか	60代	女性
39	発信だけで変わることではない。実践的にサポートしていく取り組みが必要。当本人らだけでは気づけないことを伝えていくことが重要。	20代以下	女性
40	実際にNPOとして「あそびのひろば」などを開催しています。こどもたちが自由にやりたいことをできるような場を設けていますが、設けるだけでは本当の「こどもまんなか」にはなっていないと感じています。そう言う場にお子さんを連れていくだけではなく、お子さんと交流する、我が子と遊ぶ、そう言った親側の働きかけが少ない気がするので、そう言う面もとらえた広報活動があれ	40代	女性

	ば良いな・・・と思います。一方で、こどもたちのことだけを考え、保護者の負担が増えることにならないよう、託児つきの保護者のリフレッシュなども併せて進めてほしいと思います。		
41	子供は大切育成していくことは十分に理解しているが、後期高齢者になった自分の体力気力を考えると、何か精神的に応援したいものである。従って我々高齢者でお手伝いできることを色々示していただきたいものです。	70歳以上	男性
42	部署を作るよりも現場の人間を増やしてほしいです。虐待されている子供たちの家庭訪問や、地域で児童館や保育所や子ども食堂を運営している方達の人数を増やしてほしい。スローガンで子供の命は助からない	70歳以上	女性
43	学校給食、フリースクールでの食事、幼稚園、保育園、保育所、など全ての「子供の食事」を一日一回分でも、国や県の補助による無償化を実施してほしい。ちゃんと食べれば不幸なこどもを減らせると思います。児童養護施設をもっと手厚く援助することも必要で重要なことだと思います。	60代	女性
44	既に施策としてあるかもしれません、ベビーシッター利用の推進や子連れのタクシー乗車料金の割引を検討してはいかがでしょうか。 子育ては夫婦で協力していくのですが、夫の仕事上大変な時にサポートができないときなどそれぞれの家庭で妻のほうに負担が大きいことがまだまだあると思います。 そんなときに無理をするのではなくベビーシッターや託児所など頼れるところがあるんだ、頼っていいんだと思えるような支援体制が重要だと感じる。 また、子供はよく病気をするもので、親にもうつってしまうことがある。 そんな時に運転をして子供を病院に連れていくとのリスクや夫が車で会社に行っており移動手段がない場合に家から病院まで気軽にタクシーを利用できる状況があればとてもたすかる人は多いと考える。	30代	男性
45	本腰入れてやらないと、みんな子どもを産みたがらない世の中になってしまいます。身近なところで思うのは、幼稚園教諭や保育士の賃金アップ。共働きが当たり前のこのご時世、いつまで経っても子育ての負担は女性にばかり偏っているように思う。まさに先日家庭内感染で一家でインフルエンザ罹患をした。当然勤め先には行けず、そして勤め始めて半年が経つ前なので、まだ有給ももらえず欠勤の状態が1週間続いている。子どもたちの看病をしながら、自分の療養にも努めなければならない。しかしながら職場へ連絡しても、まだ来れないのかと言った返答をされる。勤め先が中小企業であるため、大企業とちがい代わりになる人材がいないのは事実、ほんとは自分がやるべきだった業務がそのまま他の方の負担となる。代わりのいない中小企業では、子どもの看病、での休みはなかなか理解されにくい。ましてや、自身の病気の療養さえも休んではいけない風潮なのか？勤め出して日も浅いため、企業風土？がわからない。人によっては、こんな冷たく扱われるようなら退職してやる、といったような人も出てくるとは思う代わりのいない中小企業だからこそ、上に立つ人の意識も変えてほしいと思う。が、ここの土地柄的にやはりまだ男尊女卑の意識が根底には広がっているような気がしてはがゆい。昔ながらの男は○○だ、女は○○	30代	女性

	だ、の固定観念をバシッとお持ちの方が多いように思える。このあたりの意識の変革も早急に取り組んでほしい議題だとは思う。		
46	「全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的」 男の孫2人が近くにいるので、サポートする機会が多い。 ひとり親の娘が働き育てているので、何かと応援したいが、私達老夫婦はあと何年生きられるかわからないので、娘の再婚を期待するし、子供たちを社会が支えてくれることを期待したい。どんな社会組織があるのか情報を知りたい。	70歳以上	男性
47	こどもファスト・トラック、聞いたことが無い。なんで横文字なのだ。子ども優先と勝手に解釈するが、甘やかしすぎと思う。子供の時にビシビシ鍛え上げないと、ろくな大人になれない。	70歳以上	男性
48	男性の育休取得は良いことだと思います（私も育休取得経験者です。）。 他方で、育休を取得すると、同僚に少なからず負担が生じると思います。お互い様であれば良いのですが、現状そうとは言い難いと思います。 育休取得の推進のためには、既に一部の民間企業等では導入されていますが、育休取得者の同僚に対する手当の支給など、負担に報いる仕組みが必要だと思います。	30代	男性
49	SNSでわざわざ発信しなくても、魅力ある政策であれば広まるはずです。ニュースになるはずです。SNSで発信し、広めていかないと、広まっていかないというのは限りがあると思います。	20代以下	男性
50	今後の未来社会を担う子供を大事に育てることは大切です。私も老人世代でも何かお役に立ちたいと思います。例えば、学校での教育に役立つ経験談等を話機会があればよいと思います。	70歳以上	男性
51	子育て経験があるので、こういった活動は大いに賛成です。やはりスーパーが1番大変で、でもスーパーでは妊婦や子連れの方にレジの方は荷物を運んでくださったりもともと良くしてくださってるとは思うのですが、やっぱりレジ待ちで大泣きしている子どもがいても皆知らん顔だし、冷たいなとは思います。でもこういったところから優先レーンがあるととても助かると思います。	40代	女性
52	施策の発信～進捗確認～状況確認～結果の公表～再検討・改善施策など、途切れの無い一連の活動・改善が見られるようにして頂ければと思います	60代	男性
53	対策が遅れている施策と思うのでスピード感を持って実態に即した支援を進めて欲しい。	60代	女性
54	普段生活していてもなかなか「こどもまんなか」を実感することは少なく、これからはもっと実現していくべきだと思う。	30代	女性

55	身近の問題ではないので、分からない。	60代	女性
56	『こどもまんなか応援センター』の取り組みは素晴らしいと思いますが、60代の私はSNSで情報発信は困難です。高齢者にも出来る支援としてはボランティア活動でしょうか。	60代	男性
57	子どもの声を騒音として訴える声を耳にすることがありますが、公園で元気に遊ぶ姿や、運動会、地域の祭りなど、こどもたちがのびのびと活動できる場所を守ることが大事だと思いました。	20代以下	女性
58	子供を真ん中に出来ない家庭は、親の問題解決が先。子供単体にアプローチするのはナンセンス。	50代	男性
59	3の広報は大事だと思うしやるべきだけど押しすぎるとうざいと感じる人もいると思う。そもそも子供がいないとか子供を育てていない人からすると関係ないしという感覚を持っている人も多いと思う。わかってくださいわかってくださいという広報なのではなく、××なので●●です、△△だとみんな幸せに円滑に暮らせますよねっていう合理性を加えたPRじゃないと「妊婦様」「子育て様」という悪い言葉を使う人も増えそう。そして子育て側もある程度マナーを持った方がいいんじゃないかなと思うような親も多いので、育て世帯の負担等についてより多くの方に理解していただくためっていうよりもまずは社会生活を紹介した上で子育ての負担をPRしないとバランス悪いと思う。	30代	女性
60	単なるSNSの情報発信ではなく、もっと具体的な支援策を作つて欲しいです。	30代	女性
61	「こどもまんなか」を推奨するかは政策内容によります。 現に不登校児は年々増え20代以下の死亡理由の第1位は自殺です。 更に外国人留学生には無償で奨学金を出し日本人には有償という異常な現状で政府が子ども第一に考えてるとはとても思えません。 福岡県には日本で何処よりも早く地方国債(教育国債)の発行などを検討し大学までの学費無償化、給食のオーガニック化やフリースクールへの公的補助など、子どもにとって日本一住みやすい街を実現していただきたいと思います。 現役世代の移住が進めば自ずと税収も増えますので是非本当の意味での「こどもまんなか」日本一を目指してもらいたいです。	40代	男性
62	全ての施策において、こどもを権利の主体として位置付けて行う必要がある。しかし、子ども自身が発信できたり、子どもの声を施策に反映する仕組みを作ったり、子どもが自分たちの問題に関して決定に参加できる場を設定すべきと考えるが、まったくその発想が疎かになっていると強く感じる。	50代	男性
63	こどもに関する施策は以前から進めていますが、結果が出ていないと思う。子どもの権利を守ることと、子どもを生み育てやすい環境整備に力を入れて少子化を止めて欲しい。	60代	男性

64	国ではなく県手動で実施するには限界があると思うが、税控除などの直接的な支援や子供を国地域全体で守り育てる意識を広めてほしい。	20代以下	男性
65	理念どうこうより、もっと具体的に迅速に問題を解決して頂ければと思います。児童手当、数十年前のオムツやミルク代を基準に額を決められているようですが、時代に応じて、検討が必要だと思います。保育園、全く足りていません。3才児の子供がいますが、実際、今年15箇所に電話して確認しましたが、全く空きがありませんでした。病児保育、無料にするよりも前に、全く足りません。朝一番から、すぐに予約が埋まり、行っている小児科も少なすぎると思います。急患医療センター、百道浜にありますが、具合悪い中、2時間待ちなどザラです。福岡の人口は増える一方なのに、どこかに増設してほしいです。	30代	女性
66	保育料が高い。病児保育は、完全無償ではなく数百円程度はとるべき。	30代	男性
67	子供については、未来のある同じ子供たちへ向けて発信してほしい。そしてファストトラックを作るなら、それを利用しない人とのルートを分けて見えないようにしてほしい。心ない言葉や態度に傷つく方は多いので…	30代	女性
68	もっと予算を増やしてほしい。	70歳以上	女性
69	「こどもまんなか」なアクションをSNSで「#こどもまんなかやってみた」をつけて発信することは非常に良いことだとは思いますが、こども達の顔写真や住んでいる地域が不特定多数に知られてしまう危険性に充分に配慮しなければならないかと思います。私は教育業界に勤めていた経験があるのですが、上記の点に関してはかなり神経を使っておりました。また、現在教育業界を離れている私は、こども達にとってはただのおじさんであり、警戒の対象にもなり得ます。そこら辺の距離感であったり配慮等が難しい領域だと感じております。	30代	男性
70	子どもをまんなかとする施策には賛成です。が、妊婦や子連れを優先させることについては、ちょっと不安があります。私自身、子どもが1人いますが、産んでみて、子どもを育てるこの難しさを痛感しました。難しい原因是、周りの目が冷ややかなことです。周りの方に助けていただいたこともありますが、多くの人は見て見ぬふりか、邪魔だと言わんばかりの冷たい視線や態度を送ってきます。これを子どもの数だけ耐えなければならないかと思うとてもできるものではないと思い、2人目を生むことができませんでした。世間は子連れに対してとても冷たいです。そんな中で、妊婦や子連れを優先させるような場面をそういう人たちが目にしたら、子連れや子どもたちがさらに嫌がらせをされる世界になってしまうのではないかと感じ、怖いです。	30代	女性
71	SNSで情報発信するためにうその投稿をしてもわからないところを懸念する。	40代	女性

72	<p>三大阶段で夫婦、或いはワンオペ育児が主流だと感じます。私もその1人ですが、とにかく働く事にハードルが上がる(パート縛り)事や、夫の働き方改革がまだまだ進んでいないと感じます。この状況である以上、日々に追われ「こどもまんなか」を謳える余裕すら無く、また、養育費にお金がとにかく掛かり、本当に育児世帯はとても苦しい状況下で必死で子育てをしています。私の周りにも日本や世界にこれから羽ばたき即戦力となる未来を担う子ども達ばかり育ち、父母はとても必死に育てています。</p> <p>どうか税対策や働き方改革など、身のある施策をどんどん推し進め、未来ある子どもを育て、いずれは日本に還元される事を忘れずに力を入れて頂きたいです。</p>	40代	女性
73	<p>お父さん一人が働けば、家族5人をゆっくり養えるくらいの社会にしない限り、少子化も止まりませんし、子どもたちが楽しいはずがありません。問題が起きたら、まず根本を見直すことが大事です。</p> <p>働くお母さんのために保育園を作るより、お母さんが働かなくても良い制度を作る。地域の子どもたちが、地域の伝統ある祭りなどを通じて、地元を愛する心を育てる。東京に行かなくても、福岡で充分働く場所があり、35年などのローンを組まなくても、安心できる地域に住むことができる。行政は、『何かをしてあげる』ということをやりますが、国民県民が何をしてほしいか問っていますか？行政が行なうことは、全くの見当違いだと思うことばかりです。</p>	50代	女性
74	<p>男性育休についての現実も知りたい。良い循環にもなるかもしれないが、一方、育休を取得した夫のせいで妻がより大変になったという話もTV等で聞く。そのあたりの現実も知りたい。それを踏まえて講習会などもあれば受講してみたい。</p>	50代	男性
75	<p>少子化については経済的な問題は避けては通れないだろう。</p> <p>特に就職氷河期世代が子供を産んでないという点が大きいのではないか？</p> <p>その辺についても対応をして欲しい。</p>	40代	男性
76	<p>こども政策というものの内容をよく知らないので勉強しないといけないですが、こどもを取り巻く課題というのがどのようなものなのか知りたいです。家庭環境が整っていないこどもへの対策なのか、核家族化に伴ってこどもだけの時間が増えることへの対策なのか、犯罪から守る対策なのか、AIの普及等による変化の激しい社会の中でどのような道を選択するかをサポートするということなのか、貧困への対策か。国が?栄し暮らしを豊かにするには働き手の確保も必要だし、子供を守るために社会全体でといつてもやはり家庭の安定が必要だと思うし、対策が難しいと感じます。</p>	60代	女性
77	<p>各市区町村における婚姻率・出生率・女性就業率、子どもの貧困状況、子育てに関する意識、子どもの医療・学習等の環境の差異などさまざまであることを県として把握した上での施策策定・実施が重要だと思います。</p>	60代	男性

78	今までも、子供、妊婦は優遇されていたと思うが、更にどういうコンセプトのことをやろうとしているか、はつきり見えない。子供支援なら、子供に給付金を出したらどう？給付には、一切の条件を付けないこと。	70歳以上	男性
79	子どもと母親だけの孤立をしないよう、地域の行事に気軽に参加できるよう、周りの大人と子どもがつながっていけるように、なればよい。 お買物する時、病院へ行く時、美容院へ行く時、ほんのちょっとの時間でも、気軽にみていてもらえる場所が、大きな商業施設にあれば助かったのになあと思います。	50代	女性
80	こども家庭庁を作るより末端の人材を確保する方が先なのでは？子育てで一番困ったのは、「今日・今、頼る人がいない！」事でした。給付金よりも出産したら、100時間のサポート券が配られると嬉しいです。病気や仕事・私用でもどんな理由でも利用できる券があると心身共に本当に助かります。結局は、サポートの受け皿が必要になるので、保育士の待遇改善やサポートメンバーの教育に力を注いで頂きたいです。また、虐待を防ぐためにも家庭訪問をする人材を増やしてほしいです。警察にも民事介入してほしいです。	50代	女性
81	こども家庭庁の存在意義自体がわからない。	50代	男性
82	●6ヶ月検診や1歳半検診について わたしの町では必ず午後13～15時くらいの間で行われています。しかし、この時間帯はお昼寝の時間であり、親としては「行きたくない」という気持ちが強いです。丸1日の時間を用意していただきたいです。そうすることで子どもの安眠は保てますし、機嫌のよい子どもを世話することになるため親の精神の安定にもつながります。 ●ベビーシッター補助券 ベビーシッター補助券が出回って、多くの方がこれを利用されているようです。県が追加で補助することで、利用がさらに促進され親御さんの保育力の向上や気分転換など、こどもをめぐる環境がより改善されるのではないかと思います。	30代	男性
83	こどもファストラックという言葉を初めて聞きました。私が子供がいないからかもしれません、どこまで妊婦や子供優先にするかは、疑問に思うところがあります。専用レーンを設けるなど振り分けことは、良いと思いますが、それによって順番が早くなるなどの優先はどうなのかなと思いました。	20代以下	女性
84	「こどもまんなか」という言葉は知りませんでした・・。もっと啓蒙活動をしらいいのにと思いました。	70歳以上	女性
85	十分理解していませんので、これから情報収集しなければと思います。	70歳以上	男性

86	LGBT の当事者は子どもを育てたくてもできないことが多いので、里親制度や養子縁組を異性の夫婦だけでなく広げてほしい。実親に虐待されるよりも、血縁でなくとも愛をもって育ててくれる家族に迎えられた方が子どもも幸せだと思う。	20代以下	その他
87	法律の成立過程を考えると、家庭の無い子供もいる中、「子供家庭庁」の概念が狭いと感じていました。実際は家庭の無い子供も多く、知らない範囲で、潜在的に悩んでいる子供や親たちもいるはず。 余り業務の範囲を定めて狭く考えず、想定以外の子供たちをいることを考えながら、業務を進めて頂きたいと思います。	60代	男性
88	こども施策と一言でまとめられるが、それぞれのニーズにそったものを作るにはどうするべきか、もっと行政や国が考えてほしい。	30代	女性
89	こどもまんなか社会、おおいに賛成です。私は、子育ては卒業しましたが、最近の、メディアニュースで目にする、虐待、虐め、また、ジャニーズ問題、心が痛みます。こどもまんなか社会応援します。	60代	男性
90	ワンオペ育児にならないように、地域のかたに気安く聞ける場所を提供してほしい。父親がもっと気軽に育児に参加出来るように、企業にも協力してもらい、父親学級に行きやすい雰囲気を作ってほしい。	50代	女性
91	子供は未来の宝なので色々な事を体験させることが大事だと思う。	60代	女性
92	子育て現役世代、子育て卒業世代、おじいちゃんおばあちゃん世代など多くの情報が集まるイベントを開催し、全世代で悩み相談、実体験、子育て支援、買い物支援などを取り組む。	50代	男性
93	金銭給付のばらまき施策は反対です。 働きながらこどもを育てることができるための完全な施策が必要です。そのためには企業経営者や職場の責任者の真の理解が必要です。現在の我が国の状況は、まだまだ真の理解がないからだと考えています。	70歳以上	男性
94	こども（乳幼児）施策で、一番に取り組んでいただきたいことは、「行政窓口の一本化」です。「学校法人」「社会福祉法人」で管轄が変わること、こども家庭庁が取り組んでいる新制度こども園に関する対応が幼稚園と保育所で大きく異なること、これが大きな障壁だと思います。でなければ、「こどもまんなか」なんて絵に描いた餅に過ぎません。	40代	男性
95	子ども手当の拡充	40代	男性
96	保育園を増やしていただくか、幼稚園に入れる3歳まで育児手当を延長してほしいです。	20代以下	女性

97	本来なら国がやるべきことですが、福岡は県が率先して子供達を守っていただきたい。	60代	男性
98	現在は発達障害を疑われる子供が増えています。そのような現状がありますが、現在の福岡市では、乳幼児の親が子供の発達を心配し療育を開始させたいと希望した際、実際に療育を開始できるまでに時間が数か月もかかったり、希望する児童発達支援施設に通えなかったり（選択肢が少なく自分で選択もできない）という現状があります。子供の発達促進と親自身の子育てを精神・身体的にサポートするという意味でも、乳幼児期の早期の療育はとても大切になってくるため、希望する親にはなるべく早期に療育につなげてあげられる環境や、児童発達支援施設そのものの増加を望みます。	60代	女性
99	そもそも少子化を止めなければ子どもの取り組みが生かせないと思う。子育て環境の改善はもちろんだが、最近特に取りだたされる児童虐待をなくしたいので、子ども自身に命や年少者を大切にする心を育むために幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学等すべての教育機関で年少者と触れ合う機会を増やすと良いと思う。触れ合うことで年少者との接し方が分かり、きょうだいのいない子どもも今まで経験したことのない感情が生まれ、大切にしようという意識が根付けられると思う。その経験や感情がいずれ子どもの接し方が分からない、虐待してしまう、ということを生ませないことにつながると思う。また、（可能ならば）子どもを授かりたいという考えになるのではないかと思う。少子化対策にもなるし、健やかに子育てできる環境を築いていくことに繋がると思う。	40代	女性
100	具体的にどんな取り組みをしているのか分からぬ。	30代	女性
101	子どもの最善の利益を第一に考える事は大切。だが当人や保護者がそれを当たり前だと感謝の気持ちもなく過度に要求する事があってはならないと思います。	40代	女性
102	保母さんの給与を上げるようにして欲しい。国家資格なのに、コンビニと同レベルの給与というのはどう考えてもおかしい。	60代	男性
103	人口減社会から子供を安心して産める社会にヨーロッパのうまくいった政策を参考に実行したらよい。	70歳以上	男性
104	1人親や働きにでている親も多いと思うので、親に代わって第三者がこのようにサポートしてくれるととても助かると思います。	30代	女性
105	ネグレクト対策の推進強化	20代以下	男性
106	子供や子育て世帯の方々に優しい福岡県であって欲しい	60代	女性

107	子供施策に関しては国には全く期待していない。福岡の取り組みには、正直あやふやな面も否定できないが、何が効果的なのか分かりにくいことを思えば、手当たり次第に、あらゆる手段を講じてほしい。もうすぐ子育てを終えるシニアである私のような経験者を、利用してもらう施策があってもおもしろいのは？	50代	男性
108	こども真ん中というが、子どもに関する補助や助成金はすべて親の年収で決定しており、その時点でこどもが真ん中ではなく、親が真ん中である。大学の奨学金に関しても従来の規定から理系のみに幅を広げるなど偏った政策で、全てのこどもが、将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し・・・という理念からかけはなれていると感じる。こどもファスト・トラックはあれば便利であるだろうが、従来も妊婦さんや小さな子供連れへの優先や授乳室、プレイルームの設置は行われているし、そもそも子ども連れて行く商業施設などはほとんどが子ども連れてあるため、今さらにこどもファスト・トラックをしたところであまり意味がないように思う。こどもというと乳児から小学生までの取り組みに集中し、中高生への取り組みが少ないと感じる。ヤングケアラーや進学の問題等、中高生の育児に関する問題は深刻であり、より手厚い支援が必要ではなかろうか。ぜひ福岡県が全国の中心、先駆けとなりすべてのこどもが自分の将来、人生に希望をもてるよう政策を考えていただきたい。	40代	女性
109	社会全体で子供は見守らなくてはいけない。身勝手な大人が多すぎる。	40代	男性
110	「こどもまんなか」であれば、まず「子どもは大人より下。まだ若僧なんだから言う通りにしなさい」みたいな風潮をなくしてほしい。学校でいえば、校則もそうだけど、「一人一人の個性に応じた」と言っておきながら、夏休みに全員同じ、意味があるのかないのか分からぬ大量の宿題が出される等。その宿題がちょうどいい子どもって、一体どれだけいる????コロナ禍で「子どもたちが楽しみにしていた運動会がなくなつてかわいそう」みたいな意見があったけど、運動会が楽しくない子どももそこそこいる。運動会=楽しいは、大人の勝手な妄想かも。この辺りを改善したら、不登校も減ると思うけどなあ。	50代	女性
111	私は九州内の他県で育ちました。結婚し、子供が生まれ、福岡で暮らし感じた事は「福岡県民は子供に寛容」「福岡県の子供は自由で、のびのびしている」という事でした。福岡県は子供をのびのび育てるというベースは出来ていると感じています。あとはそれを雰囲気だけでなく、形としてどう残すのか、だと思います。こどもファストトラック、いいと思います。	30代	男性
112	子供を取り巻く問題は多岐にわたります。学校の事や家庭のこと、病気や怪我、犯罪など。どこまでを子供として扱うのか、またどの範囲まで関わるのかなど具体的なルールや制度が必要だと感じる。	30代	男性

113	<p>公共交通機関の優先席に座り、席を譲る気持ちがない方を多く見かけます。アナウンスによる声掛けはありますが、一度座ると優先席である事が分かりづらくなる事が多いので、声掛けしやすいようにより分かりやすい表記が必要かと思います。また、高齢の方は見た目で分かりやすいのですが、妊娠中の方は分かりづらい事もあるので、マタニティマークのサイズをいくつかから選べる(大きいものも選択可)といいと思います。</p> <p>また、1人目を出産後、保育施設や学校に預けながらだと親のどちらかは短時間勤務にせざるを得ない事も多いと思います。給料が減った状態で2人目、3人目となると、育児休業給付金の金額が減る為、妊娠意欲低下に繋がると感じます。時短勤務前を基準にする等してもらえるといいと思います。</p>	30代	男性
114	予算が取られているのであれば、それが本当に子どものためになることに対し、費やして欲しい。	30代	男性
115	行政の施策は、後日必ず費用対効果と結果責任を検証できるようなものを行うべきと思います。	60代	男性
116	子供を産み育てることが楽しいと思える社会にしていきたいです	60代	男性
117	子どもが健やかに育ち、社会に出て働くことの意義を、子どものうちからしっかりと教育する必要があります。日本の国、住んでいる地域に愛着や誇りがないと、人は力を発揮できません。まずは、家族や先祖に感謝し、正しい歴史教育を行い、子どもたち（若者）自らが世の中をよくしていくという気持ちをいただくことが重要です。間違った歴史観を含め「現在の教育」を見直していただきたいです。（国政にも訴えていただきたいです。）	50代	男性
118	高齢化社会の現実において様々な課題は未来の子供たちが解決していかなければならぬ。そのことを念頭に今の大人たち（高齢者含む）がもっと就労意欲を高め、財政の余裕を作り子供たちが安心して住める街作りや教育の充実を図っていくことが必要だと思う。	50代	女性
119	子供対策は大事だが、設問に具体策がなく分かりづらい。	40代	女性
120	市町村で取り組み内容の差が大きい。福岡市は財政が大きく市長も積極的大だが、他の市町村はどうかな？。そもそも一方で「食育」と言いながら、学校給食さえ行っていない自治体もあることが疑問。 子ども施策でお金が配るだけならしない方がよいと思う。	50代	男性
121	時間はかかると思いますが、目に見えるよう、施設作りから始めるのがいいと思います。	40代	男性
122	教育に関する予算は、とにかく少なすぎる。議員、公務員の給料、天下りへの補助金、視察への予算等々は大幅にカットしても良いので、その分回して欲しい。	50代	男性

123	70代ですが、知り合いにも孫のいない人が多いです。ということは、子どもの世代で子育ての人が少ないとことでしょう。自分のこととして考えられないのは社会にマイナスです。机上の空論では効果は見込めない。発信に触れるのが近道かと。	70歳以上	女性
124	趣旨には賛同するが、SNSを利用しないので参加できかねる。	60代	男性
125	具体的な施策がまったく見えません。	40代	男性
126	地道に薦めていく以外ないですが、まずは、子どもを生み育てやすい環境を整えて行く。家庭を育みやすい地域をそだてる。教育の場で、ひとりひとりが未来を期待しワクワクする環境を整えていきたいです。官民産学一体です。	60代	女性
127	全ての子どもに最善の利益というならば思い切った施策ではないといけないと思います。目前にある高齢化社会を支えなければならない子どもたちです。すぐにでも投資をしなければならないと思います。豊かな教育や環境を整えてあげることが必要だと思います。	30代	女性
128	こどもまんなかの施策について国がやっている事例をいくつか目にしましたが、「これじゃない感」を覚えるものもあり、実際の子育て世帯のリアルな声や要望を拾えていないように思いました。また、中途半端な支援は子育て世代の中でも新たな分断・余計な分断も生みかねないため、年齢や属性等で制限を設げず平等に受けられる施策を進めてほしいです。	40代	女性
129	こどもまんなかを実現するには強制力が必要。いろんな機関が責任を押し付けてる現状を変えることを公共機関が示すべき。	60代	男性
130	困っている様子では声かけたいが 気になり親切心でも不審者扱いされそうで 些細なことでも、通報されたくないので 怪我した 命に関わる以外では 極力関わりたくないのがあります。今の時代は難しい。	40代	女性
131	子育て支援は昔に比べたら充実して生きていると思うが上手く利用できていないような気がする。ベビーカーで動きやすい駅のマップや授乳マップもあると助かる	70歳以上	女性
132	子どもの最善の利益とはなんでしょうか。「こどもまんなか」とはどういう意味なのでしょう。言葉だけ立派で内容がない気がします。こども家庭庁でなければできなかったことはどんなことなのでしょう。子どもの最善の利益というなら親の所得格差などによる教育の格差をなくすべきでしょうし、「こども食堂」など本来ならない方が良いものなのに国が関わろうとするのはどうしてでしょう。	60代	女性

133	現在2歳育児中ですが、子どもに対する補助などはありがたいが、公園などの整備がおろそかではないかと思うことが多い。幼児の背丈ほどの草が生えっぱなしで、近づくことも危ないと思うこともあります、虫も増える。タバコや缶のゴミが放置されていて（放置する人が悪いのは間違いないが）子どもが触ろうとしたり、口に入れたりするのではと思うもある。子どもを連れて行く場所に困っているという話は聞くが、公園で頻繁に遊ばせている親が意外に少ない。夏は紫外線も熱射も強く、日陰になるものがない公園には行きづらい。	40代	女性
134	子ども施策として、高校・大学の無償化を一刻も早く実現すべきだと考える。優秀な子どもが家庭環境の差で十分な教育を受けれない環境になりつつあるのが平等性に欠けると感じる。	40代	男性
135	子どもを育てている立場としてはどんどん発展してほしい。専属エレベーターもありがたく利用しています。	20代以下	女性
136	子ども施策について、少子化対策として必要だとは思うものの、例えば幼児保育無償化には収入制限がないのに、高校の学費補助には収入制限があるなど、ちぐはぐだと感じる。あまり今まで支援を受けられなかつたので、残念。	50代	女性
137	子どもを持つと経済的な負担がとても大きいので、子ども手当など様々な手当がありますが、夫婦共働きして世帯収入を増やしたが、高校の授業料の助成が今年からもらえなくなってしまった。子供の数で上限額を調整してもらいたい。1人っ子家庭と3人兄弟過程では負担が全く違うので。	40代	男性
138	未来を担う子供たちのための施策だとは感じられるが、子供のいない世帯にとってあまり身近に感じられず、現在の生活状況の中で苦にも感じる。介護は削り、子どもに力を入れるあからさまなバランスの差に疑問もある。	30代	女性
139	取り組み自体はとても良いことだと思うが、SNSなどで発信することによりそれができないと自分がダメな親だと感じる人も出てきそうで怖い。SNSはリアルを発信するというより、どちらかと言うと、良い部分だけを切り取って発信する方が多いので。	30代	女性
140	私は、幅広く、子ども食堂の情報発信などをしております。	30代	男性
141	埼玉県?の子ども虐待条例取り下げのニュースを聞いて、やはりと思った。子どもを大切にするという考え方自体には大賛成だが、それは子どもを甘やかすこと、過保護にすることではない。チャイルド・ファーストとは大人が、社会が、子どもの将来的な幸せを考え、子どもをじっくり育てていこうというコンセプトでなければならない。埼玉?のみならず、政府も子どものために税金をばらまいて、有権者の機嫌を取ろうとしていると思えない。他県の議会でも、高齢者の祝い金を廃止するかどうかの議論で、若手議員が「今からはチャイルド・ファーストの時代。お年寄りにお金を使っている場合ではない。」と言っているのをニュースで見た。世も末だと思った。現役世代は金が稼げるが、年寄りはもう年金以外に生きる術がないのだ。そんな風潮が蔓延すれば、日本は	60代	女性

	どうなるのだろう、そうやって育ったこどもはどんな大人になるのだろうと背筋が寒くなる。		
142	問5-3の2と5。こう言うのって意味がないと思います。実際そこで働いてるわけではないし。企業の宣伝としか思えない。	50代	女性
143	いづれは子供食堂などをお手伝いしたいです	20代以下	女性
144	親子の人権を尊重し意見を聞いて、それを第一に考える。一方、公共を中心に行開する取り組みに不都合が起きぬよう進めることが大切です。	70歳以上	男性
145	子供をもつ親としての意見ですが、優先案内や専用レーンの設置は必要ないと私は思います。各種施設で子連れで並ばないといけない状況ということは、もともとそういう家庭が集まる場所であったり、そういうイベントなはずなので、なくともいいです。もっと困っていることは他にたくさんあるので、この取り組みに人やお金を回すのは賛成できないので正直な気持ちです。 こういう取組を始める前に、実際に子育て中の当事者にアンケートを取る等行ってから、本当に必要な内容に対して対応していただくのが一番ありがたいです。	40代	女性
146	子育て経験は無いですが、学童のパートをしています。 そういう人は、どこまで権限があるのかが気になります。	60代	女性
147	今現在稼働している幼稚園や保育所、認定こども園、無認可保育園などすべて含めた専門において、賃金の処遇や、子どもたちの人数に対しての配置がまだまだきちんと整備されていないと、いろんなところで耳にします。関東のニュースでもこのことが取り上げられているのを直視しました。こどもの最善の利益を第一に考え、全てのこどもが健やかに成長できる社会の実現に向けて取り組み「こどもまんなか」を推奨するのであれば、まずは専門施設の改善点の見直しが重要で、そこから枝分かれし、市町村の子育て支援センターなど、気軽に相談できる場所をつくり、いろんなところから広げていったらいいと思う。	40代	男性
148	これも知らなかった。今の若者達は子供を産みたいと思える経済状況、育児制度、世の中じゃないので、そこも改善してくれたらいいな	20代以下	女性
149	今まであまりにも興味、関心がなく、これから勉強します。	60代	男性
150	明石市のような取り組みができる財政希望	20代以下	女性
151	真に出生率増加させるには、子供手当は1人目から増加するべきだ。 3人目からは…本気だと思えない。	50代	女性

152	SNS 見るだけで、発信することはできないが若者に伝わるという意味では良いと思う	50代	女性
153	多様性の時代でファーストラックも優先順位が昔の価値観と今の価値観では違うと思います。その価値観の差を少なくする取り組みも必要だと感じます。	40代	男性
154	子供と関わりのない高齢の方などにも、情報発信することで、子供ファーストラックを利用しやすい空気感が、社会全体にできると嬉しいです。	30代	女性
155	多くの方がまだ実際に行っていないと思う。まだ他人事この妊婦の方をファーストに考えた動きは企業サイドがどんどん取り組むべき	20代以下	男性
156	こども施策は必要だが、実際効果があるのかよく検証して取り組んで欲しいと思う。	40代	男性
157	少子化の問題があると思いますがその前に子供が出産して安心して働ける環境作りをして欲しいと思います。	60代	女性
158	具体的な施策、取り組みが分からぬ。本当に子どものためになる取り組みをお願いしたいです。	40代	女性
159	今の子供たちの取り巻く環境は、とてもストレスの多いものである。心のケアをもっと進めないといけないので?私達年寄りよりももっと若者に目を向けるべきではないか。ストレスによる薬依存で緊急入院したという若者の情報を聞くと、アメリカにこんなところで近づいてきたなと思う。カウンセラーや電話相談員は不足していると思う。	60代	女性
160	sns の発信は様々な人に見てもらえるが、一方で子供を使ってバズり目的に使われそうとも思うのでどちらとも言えない	20代以下	男性
161	政治家が心の底から「こどもまんなか」と思わない限り(現時点では到底難しいことだと思うが)、SNS 等で発信してもあまり効果はないと思う。	30代	男性
162	子供時代の経験には、大人になった時、これから先の自分が、自身の力となるものを沢山習得する時間です。まわりの大人から与えるサポートではなくて、子供たち自身が成長する為に、自ら発見し、体験していく事、嬉しい思いも悔しい思いも、我慢する事も、時には立ち向かう勇気など、強い心と体を築くことや自立心を養う事が大切だと思います。 大人になった時のいろんな荒波をどう対処してゆけるかの術を習得する基礎訓練として、サポート内容を今一度見直して欲しいと考えております。	50代	女性
163	高齢者が多くなっている現在、将来の働き手を大切にしていくことは国をとまつ一番重要なことであると思います。	60代	男性

164	少子高齢化が進む中で、これからも未来を考えれば子供を大切にすることは非常に重要なことであります。福岡県青少年団体連絡協議会や青少年育成県民会議が長年にわたり取り組んできた活動にもっと光を当て、子供（親になっていない大人）が子供を育てている状況の中で、親に対する教育の重要性にも取り組んでもらいたい。例えば、亀井県政で行われていた、「福岡県青年の船」や「福岡県少年の船」などのこれから親になっていく世代への施策が今、再び必要になっているのではないか。掛け声だけではなくて。	70歳以上	男性
165	はじめて聞く言葉だったので、#こどもまんなかやってみたをXで検索してみました。主に自治体や事業施設が発信していました。個人の利用はほとんどありませんでしたので、個人の周知はあまりないのかなと思いました。自分も子育て世代なので子どもと遊べるイベントや事業に興味があり、自治体のLINEなどで情報を確認しているので、便利かなとは思いました。ただ、全国からの情報になるので振るいわけが大変そう。結局いつも通りの検索になりますので、もっと利用しやすい方法があればなと思いました。	40代	女性
166	児童虐待の事件が全国的に多発している。何人犠牲になればいいのか？児相の対応を検証して何をどう生かしているのか。耳障りのよい情報ばかり発信しても意味はない。子を持つ親として犠牲者を出さない強気の対策を求めます。	40代	男性
167	どんどん広めて欲しい。	40代	女性
168	なぜ子供が真ん中で、老人は外なのか理解できない。	40代	女性
169	これまで数々の施策が実施されていると思います。その施策後の効果がどうであったかの検証結果を公表することで、一般からの意見やアイデアがたくさん集まると思います。	60代	男性
170	若い世代はSNSでの情報は多いかもしれないが、私のようにあまり自分から発信しない人も多いと思った！それよりも福岡全体として子供の保育園問題や、学校の無償化など足並みを揃えてほしい。福岡市はやっていて小郡はやっていないとか本当に残念。	30代	その他